

生涯輝くまち

施策の
方向性

- 4-1 人権を大切にする共生のまちづくりの実現
- 4-2 子どもたちの教育環境の充実
- 4-3 多様な学びの場の整備・充実
- 4-4 スポーツ・芸術・文化の振興

評価指標		現状値		目標値 (2029年)	評価指数の考え方
		前期基本計画 策定時	中期基本計画 策定時		
自分には、 よいところ があると思う児童 生徒の割合	小学校	71.4% (2017年度)	72.0% ^{※2} (2020年度)	85.0%	【自尊心の向上】 教育の質がさらに向上することにより、 自尊心の高い子どもが増加すると考 えられます。
	中学校	69.7% (2017年度)	68.0% ^{※2} (2020年度)		
今住んでいる地 域の行事に参 加している児童 生徒の割合	小学校	63.9% (2017年度)	- ^{※3}	75.0%	【郷土に愛情を持つ子どもの増加】 子どもたちの教育環境の整備や地域に おける教育力を向上させることで、郷土 に愛情を持った子どもが育ち、地域の行 事に参加する児童生徒が増加すると考 えられます。
	中学校	35.7% (2017年度)	- ^{※3}	55.0%	
市内主要施設の ^{※1} 年間利用者数		187,927人 (2017年度)	102,356人 (2020年度)	188,000人	【スポーツ・芸術・文化への関心の向上】 スポーツ活動の充実・支援や芸術文化 環境の充実を推進することで、市内施 設の利用者数の維持・向上につなが ると考えられます。

※1 市内主要施設は、市民を中心に利用のある大規模施設として、文化会館・温水プール・公民館4館・ふれあい交流館ドーム・図書館を設定
 ※2 中止となった全国学力学習状況調査に替えて実施した市独自アンケートの数値
 ※3 新型コロナウイルス感染症の影響により全国学力学習状況調査は中止



SDGs

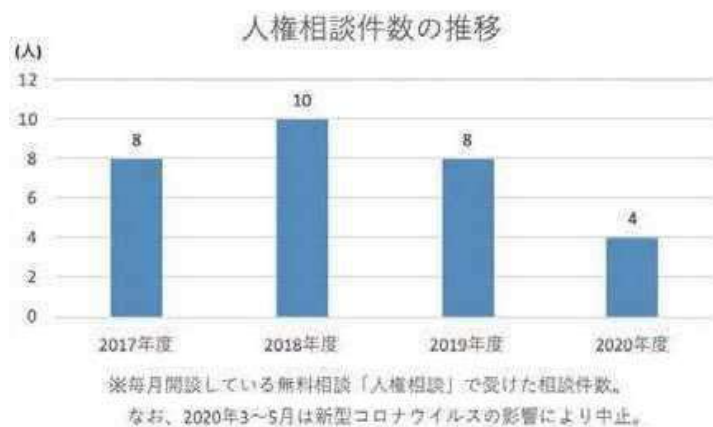


施策の方向性

4-1 人権を大切に作る共生のまちづくりの実現

現状

- ▶ 同和地区に関する問い合わせや、インターネットによる人権侵害が依然として存在し、また、LGBTQなど性的マイノリティの人に対する偏見といった問題も発生
- ▶ 人権に関する相談に対応するため、人権擁護委員や民生委員・児童委員等との連携により人権相談を実施しているほか、女性専門相談員によるDV相談の実施
- ▶ 性別に関わりなく誰もが輝くことのできる社会の実現を目指して、地域団体と連携しながら、啓発活動及び学習活動を実施
- ▶ 女性の社会進出が進んでいる一方で、性別による固定的な観念や思い込みなどの人権問題



課題

- ▶ 人権問題の解決に向けた人権教育・啓発のさらなる推進のため、関係機関・団体等と連携を強化
- ▶ 多様化・複雑化する人権相談に対応するため、関係機関との連携強化、相談員の資質を向上
- ▶ DV等の暴力の防止に向けた取り組みの充実
- ▶ 男女が対等に生きる意識と社会環境づくり
- ▶ 多様な働き方ができる職場環境づくり

目指すまちの姿 4

施策

1 一人ひとりの人権が尊重されたまちづくりを推進します

【主な事業】人権集会・研修会開催、

人権相談事業、DV相談事業

- ・「宇陀市人権施策基本計画」に基づき、あらゆる分野において多様性を個性として受け入れ、誰もが尊重されるインクルーシブ社会の実現
- ・家庭や学校、地域、職場等あらゆる場で、人権意識を高めることができるよう人権教育・啓発を推進し、部落差別をはじめとするあらゆる差別や人権侵害の行為を防止
- ・LGBTQなど性的マイノリティについては、性の多様性に対する正しい知識と理解が広がるような意識啓発と意識改革
- ・人権問題における様々な相談に対して、国や県、民間団体等との連携・協働を図りながら、支援体制を充実
- ・人権交流センターは人権と福祉の拠点施設として、講座等による交流や人権・生活・就労等の相談事業を充実

【写真】または【イメージ】
人権交流センター
インクルーシブ社会のイラスト

2 あらゆる分野での男女共同参画を推進します

- ・固定的な性別役割分担意識に捉われることなく、男女がともに尊重し合える意識づくりのため、職場、学校、地域、家庭など幅広い広報・啓発活動
- ・社会のあらゆる分野に様々な価値観と発想を取り入れるため、施策・方針決定過程への性別にとられない人材の参画を促進
- ・男女間のあらゆる暴力の根絶に向け、被害者が安心して相談でき、かつ必要な支援を適切に受けられるよう体制を充実

3 仕事と生活の調和がとれたワーク・ライフ・バランスを推進します

- ・男女がともに責任を持って家事や地域活動を担い、様々な分野に参画できるよう、啓発と環境を整備。
- ・事業所や労働者に対し、仕事と仕事以外の生活の調和を図ることが、心身の健康や生産性の向上等に有効であることの啓発や、職場における男女平等を実現

関連する計画

- 宇陀市人権施策基本計画
- 宇陀市地域福祉計画及び地域福祉活動計画
- 宇陀市特定事業主行動計画
- 宇陀市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画
- 宇陀市教育大綱
- 宇陀市男女共同参画計画
- 宇陀市生涯学習振興指針
- 宇陀市学校教育の指導方針
- 宇陀市いじめ防止基本方針
- 宇陀市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画 úú

DV:ドメスティック・バイオレンス (Domestic Violence) の略で、配偶者や恋人などの関係にある、又はあった者から振られる暴力のことです。
インクルーシブ社会:障がい、性別、年齢、国籍や宗教、文化等の多様性を認め合い、共に暮らしていく社会のことです。

LGBTQ:女性の同性愛者 (Lesbian)、男性の同性愛者 (Gay)、両性愛者 (Bisexual)、こころの性とからだの性の不一致 (Transgender)、性的指向や性自認がはっきりしていない、定まっていない、どちらかに決めたくない等 (Questioning) の性的少数者の総称のことです。

ワーク・ライフ・バランス:働くすべての人が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のことです。

SDGs



施策の方向性

4-2 子どもたちの教育環境の充実

現状

- ▶ 「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」は、小中学生ともに、全国平均を上回り、「全国学力・学習状況調査」は、小中学生ともに全国平均をやや下回る傾向
- ▶ 誰一人取り残さない、持続可能でよりよい地域社会の実現の推進と健やかな心身と安全な生活を保持推進できる子どもの育成を推進
- ▶ 外国語指導助手の配置や ICT 環境の整備により、国際化やデジタル化社会に対応できる人づくりを推進
- ▶ 課題を抱えた子どもを支援する専門職の配置等により、安心して通うことができる教育支援体制を推進
- ▶ 児童生徒が減少する中、望ましい教育環境を作るために学校の適正化について検討
- ▶ 学校施設の効率的な改修等を進めるため、学校施設長寿命化計画を策定
- ▶ 市内唯一の高校として宇陀高校が新設



課題

- ▶ 基礎的・基本的な知識・技能のみならず、課題を解決するために必要な情報を精査し、根拠を明確にして説明するなどの思考力・判断力・表現力を育成
- ▶ 外国語教育やデジタル化に対応した教育をはじめ、新しい時代に必要とされる資質・能力の育成
- ▶ 課題を抱えた子どもたちやその保護者を支援する支援員や相談員、専門職の配置の充実
- ▶ 学校の学習環境の充実を図るた、保護者や市民の意見を踏まえ、小・中学校の適正化を推進
- ▶ 学校施設に求められる機能・性能を確保しつつ、ライフサイクルコストの縮減など、中長期的な視点から財政負担の軽減・平準化

目指すまちの姿 4

施策

1 児童生徒の「よりよく生きる力」を育てます

- 【主な事業】 教職員の指導力・質の向上事業、英語指導助手設置事業、学力・学習状況調査
オンラインスピーキングトレーニング実施事業、教育相談事業、通級指導教室設置事業
- ・ 学ぶ意欲を引き出し、家庭学習の定着を図るとともに、「どの子どもにも分かる授業」の実現に向けた教職員の資質・能力の向上
 - ・ 確かな学力を身に付けるため、国や市の学力調査の活用
 - ・ 他者の思いや意見、考え方を尊重することのできる豊かな人権感覚を持った子どもの育成
 - ・ 学校給食における地産地消の促進と、食育を推進
 - ・ 「使える」外国語教育の充実を図り、国際的視野を広めるとともに、プログラミング教育による情報活用能力や科学（化学）的思考力の向上
 - ・ 学校と家庭が連携したいじめや不登校の未然防止、早期発見、早期解決を支援するとともに、スクールカウンセラーなどの教育相談等を通じた子どもの発達や不登校児童生徒の自立を支援
 - ・ GIGAスクール構想により整備した一人一台の学習用PC等のICT機器を効果的に活用
 - ・ 宇陀高校との連携による、小中学校における情報教育などの教育内容の充実

2 児童生徒の教育環境を整えます

- 【主な事業】 新宇陀市立学校給食センター建設事業、
屋内運動場LED化事業、
スクールバス購入事業、
学校適正化推進事業
- ・ 保護者や地域住民、学校、教育委員会の連携・協働による市立小中学校の適正化
 - ・ 子どもの多様な見方・考え方を育むため、一定規模の集団による教育環境の実現に向けた、小中学校の再編
 - ・ 小中学校校舎や屋内運動場の大規模改修やLED化、長寿命化、バリアフリー化等の学習環境の向上と、環境への配慮や災害発生時の防災機能を有する施設としての整備
 - ・ 安全で安心な学校給食を提供するために老朽化している学校給食センターの新設
 - ・ 安全・安定なスクールバスの運行及び車両の年次の更新

【イメージ】 学校給食センター

関連する計画

- 宇陀市教育大綱
- 宇陀市学校教育の指導方針
- 宇陀市いじめ防止基本方針
- 宇陀市学校施設長寿命化計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画



プログラミング教育：物事を順序立てて論理的に考えていく力（プログラミング的思考）や情報を活用する力を身に付けるための教育のことです。

SDGs



施策の方向性

4-3 多様な学びの場の整備・充実

現状

- ▶ 生涯学習の拠点となる中央公民館と地域の分館では、各種の講座を開催し、生涯を通じた多様な学びの場を提供
- ▶ 図書館では、蔵書の充実を図るとともに、電子図書館の開設や図書消毒機の導入など、コロナ禍での読書環境の整備
- ▶ 大和富士ホールは、市民の教育文化の向上と生涯教育の増進を図る施設として、住宅地の中にあるということもあり、幅広い年齢層が利用
- ▶ SNSの普及により、人間関係の希薄化やインターネットを悪用した問題行動の発生など、青少年を取り巻く環境が大きく変化
- ▶ 家庭や地域、学校の連携により、地域ぐるみで子どもたちの育ちを支える取り組みの実施

課題

- ▶ 中央公民館等の各社会教育施設の老朽化対策
- ▶ 様々な生涯学習活動や地域ぐるみ・世代間の交流を通じて、人とのつながりや人を思いやる心を育む機会の提供
- ▶ SNSを悪用したトラブルに巻き込まれないよう、青少年健全育成環境を整備
- ▶ 地域に根差した開かれた学校づくりを目指し、学校と地域の連携を強化



目指すまちの姿 4

施策

1 生涯学習環境の充実に取り組みます

【主な事業】 公民館講座開設事業、子ども読書活動推進事業

- ・教養の向上や健康の増進、文化の振興等のため、市民のニーズに合った各種講座や教室を積極的に開催
- ・老朽化が著しい中央公民館及び菟田野、室生の各分館は、生涯学習の拠点機能を維持するため、域内の他施設への移転を検討
- ・図書館では、蔵書の充実やサービスの向上によって利用促進を図るとともに、子ども読書活動推進、電子図書やデジ図書の拡大などにより、子どもから高齢者まで幅広い世代の学びや交流の場を創出
- ・各社会教育施設について、中長期的な視点に立った維持・保全対策等や効率的な管理運営

2 地域社会全体で子どもの育ちを支えます

【主な事業】 宇陀市子どもフェスタ開催事業、
学校・地域パートナーシップ事業

- ・地域・家庭・事業所・行政等の連携を強化し、子育ての楽しさや大変さを分かち合えるよう、多様な人の協力と助け合いによる自主的な活動を支援
- ・子どもの自立や協調性を高めるため、関係団体の育成やイベント開催、ボランティア活動等の実施を支援
- ・各健全育成団体の協力を得ながら、未来を担う子どもたちの健全育成
- ・地域社会力を活かし、地域ぐるみで学校をサポートするボランティア活動を支援し、「地域と共にある学校づくり」を進めるため、子どもたちの学習補助や体験学習等の実施

【写真】 又は 【イメージ】
子どもフェスタ 又は 図書館おはなし会

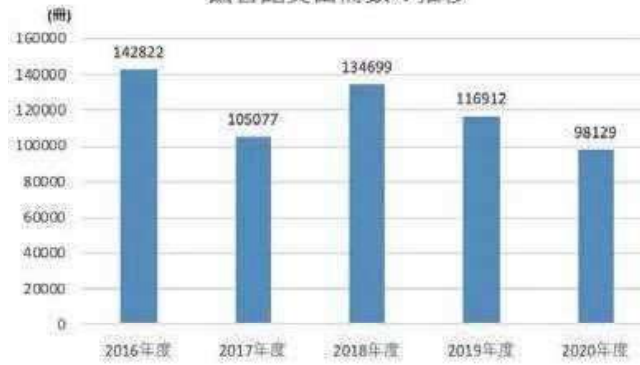
関連する計画

- 宇陀市子ども読書活動推進計画
- 宇陀市教育大綱
- 宇陀市生涯学習振興指針
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市子ども・子育て支援事業計画

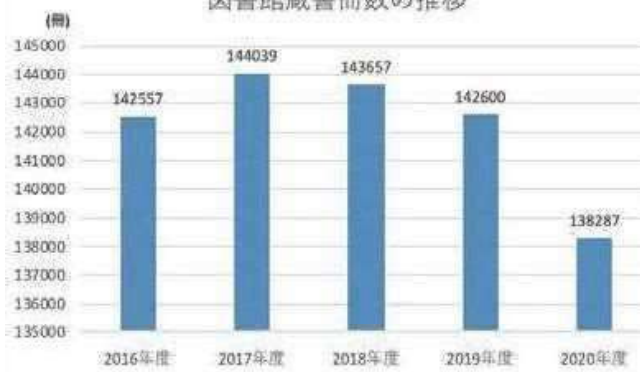


電子図書：紙媒体で出版されていた本を電子データ化し、タブレット端末等の電子機器の画面で読めるようにした図書のことです。
デジ図：文章を音声で聞きながら、パソコン等の画面に絵や写真等の画像が表示されるデジタル図書です。

図書館貸出冊数の推移



図書館蔵書冊数の推移

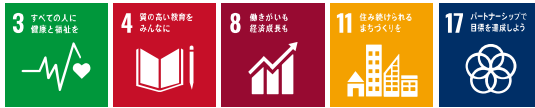


図書館蔵書冊数の推移



目指すまちの姿 4

SDGs



施策の 方向性

4-4 スポーツ・芸術・文化の振興

現状

- ▶ スポーツ施設等では、市民団体等が様々な活動を実施
- ▶ 健康づくりへの取り組みが注目される中、団体のみならず個人での運動に取り組む気運が高まる
- ▶ 健康づくりの観点からもスポーツに親しむことができる社会の実現が求められる
- ▶ 2031年に奈良県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催予定
- ▶ 文化会館等で文化・芸術に触れることができる最適な環境

【グラフ】 スポーツ施設利用者の推移
2016年度～2020年度

課題

- ▶ 健康長寿や生きがいづくりにつながる生涯スポーツとアスリートが活躍し応援する競技スポーツの両立を図り、誰もがスポーツに親しめる環境づくり
- ▶ 市民のスポーツ振興並びに、スポーツを通じた関係人口の拡大による地域活性化の拠点となる施設の整備
- ▶ 地域等で誰もがスポーツを楽しむことのできる機会の拡大や共生社会の実現、健康寿命の延伸
- ▶ 安全で快適に各施設を利用できるように、施設や設備の長寿命化や適正な維持管理等
- ▶ 市民主体の文化活動への支援や文化、芸術に触れることができる機会の充実

施策

1 スポーツ活動の充実に取り組みます

【主な事業】 スポーツ施設長寿命化事業、
スポーツイベント開催事業

- ・スポーツ活動の拠点施設の整備に向けた取り組みを進め、市民のスポーツ振興及び競技スポーツによるまちの活性化
- ・中長期的な視点に立った体育館や運動場等のスポーツ施設の維持・保全対策等を行うとともに、効率的な管理運営。
- ・スポーツ施設を気軽に利用できる環境づくりに努めるとともに、各地域の施設を活用し、健康寿命の延伸に向けた健康づくり
- ・障がいのある人等のスポーツ参加を推進し、スポーツを通じた共生社会の実現
- ・地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成に取り組み、地域住民間の交流や地域住民のスポーツへの参加機会の充実
- ・2031年に奈良県で開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた会場誘致

【イメージ】 又は【写真】 スポーツ拠点

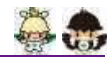
2 芸術・文化の振興を図ります

【主な事業】 文化会館自主事業、美術展覧会開催事業、文化会館長寿命化事業

- ・芸術・文化活動の拠点施設である文化会館の環境整備と長寿命化対策
- ・芸術や文化の振興を促進するため、講座等の充実を図り、市民の芸術・文化活動を支援
- ・創作活動の成果発表の場や、文化芸術鑑賞による創造的な「思考力、判断力、表現力等」を育成
- ・文化芸術活動体験交流施設や室生高齢者等ふれあい館等での芸術・文化活動を推進し、地域の活性化を図るとともに、より効果的な運営を実現

関連する計画

- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市生涯学習振興指針
- 宇陀市障がい者計画
- 宇陀市教育大綱
- 宇陀市スポーツ施設等個別施設計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画



総合型地域スポーツクラブ：身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブで、子どもから高齢者まで様々なスポーツを愛好する人がそれぞれの志向・レベルに合わせて参加できる、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。

国民スポーツ大会（国民体育大会）：毎年、都道府県持ち回りで開催される国内最大のスポーツの祭典です。国民体育大会（本大会）と国民体育大会冬季大会に分かれており、都道府県対抗で実施されます。また、「国民体育大会」の名称は、2024年の佐賀県での大会から「国民スポーツ大会」に変更されることとなっています。

全国障害者スポーツ大会：毎年、国民体育大会を開催した都道府県で開催される、全国的な障害者スポーツの祭典です。大会は、3日間の会期で行われ、障害のある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、多くの人々が障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加を推進することを目的として開催されています。